

## 二〇二〇年度の学会運営に関する報告

二松学舎大学人文学会 会長 牧 角 悦 子

嘗てない混乱のうちに始まった今年度は、実に様々な分野で異例の対応を迫られました。講義も会議も、そして研究も教育も、会って話して議論して、という場が完全に無くなり、ほぼすべて電子媒体を通して何とか処理しつつあるのが現状です。非常事態・緊急事態であったはずなのに、まるで常態化したかのようにいつまでも出口が見えません。

本学会も、予定していた春の大会を無期延期にいたしました。無期延期にしたのは、中止にはしたくなかったからです。何とか開催の方法を模索したいと考えるのは、教育や研究は止めるわけにはいかないからです。

とはいえ、今現在七月の段階で、春の大会の開催が実現していない状況があります。また関連して、本来は大会時に開催される総会が宙に浮きました。しかし、会の運営を語る総会を開く必要があります。そこで、前例のない形ですが、本年度の総会はインターネット上において開催いたしました。具体的にはGoogle フォームを利用して、投票の形態により、議案に賛否を問いました。その結果、七項目の議案について、いずれも過半数の「可」をもってご承認をいただきました。異例づくめの学会運営になりましたが、この紙面を借りて現状の報告をさせていただきます。会員のみなさまには、どうぞ今後も会の運営にご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

令和二年七月二十三日